

サントリー 地域文化賞



★生態工房「挑戦続けたい」

サントリー地域文化賞贈呈式

地域文化の発展に貢献した活動を顕彰する第44回サントリー地域文化賞の贈呈式が14日、大阪市内で開かれ、認定NPO法人「生態工房」(東京都武蔵野市)など受賞団体に記念の盾や賞金300万円が贈られた＝写真。サントリー文化財団の鷲田清一副理事長から盾を贈られた生態工房の片岡友美理事長は「かいぼりによる水辺の再生活動が地域文化への貢献で評価され、大きな夢をいただいた。明日からも創造と挑戦を続けたい」とスピーチした。

生態工房は1998年に発足。池の水を抜き、池底を干す「かいぼり」を支援し、水辺の生態系再生や外来種駆除の活動を続けている。都内を中心に約30カ所でかいぼりを手がけ、中でも都が2014年以降、井の頭池(東京都三鷹市)で3回実施したかいぼりによる生態系の回復が注目された。(花井聡規)